

平成二十九年 城下町「からつ」俳句コンクール作品選

選者 唐津観光俳句の会会長 田邊虹志 選

特選一句

名の如き虹の松原秋の色

三重県

日下部君代

入選三句

父母眠る山は遙かや花の下

佐賀県

川上彌生

異国語のとびかう天守秋の風

鹿児島県

西村正一郎

青松の浜をみださず秋の空

神奈川県

西山節子

佳作十六句

天守閣四方見おろし閑花待つ

大阪府

阿南邦子

潮騒の夏のときめき午后の城

佐賀県

長谷誌郎

武士の夢進いかける夏の風

福岡県

藤田耕三

白壁の天守は高し雲の峰

福岡県

福岡 静

新緑と天守を翔る風からつ

佐賀県

森木いちな

青あらし城よりおがむ宝当社

東京都

榎並伸一

古郷の夏の香りが身に染みる

佐賀県

宮崎 翔

サーファーの胸のふくらみ冬うらら

熊本県

若松節子

秋うらら屋敷の中の能舞台

兵庫県

清沢美津子

紅葉散る四百年の礎に

福岡県

平井裕子

爽やかや薨の光る城下町

千葉県

松本よし彦

唐津城秋の夕日に紅化粧

神奈川県

唐戸あけみ

たはむれに拾ふ松笠城は秋

東京都

井上千代子

山脈のうすむらさきや暮の秋

東京都

瀬戸悦子

唐津城桜紅葉に白映ゆる

福岡県

秦 千夏

舞鶴の橋の秋風白穂波

佐賀県

江川栄二